

# 令和6年度第1回学校運営協議会・コンプライアンス委員会議事録

令和6年6月3日(月) 9:30～11:30

天竜特別支援学校 視聴覚室

## 1 出席者

### (1) 委員

尾関ゆかり氏、恩田斉氏、片桐千恵美氏、堀内浩氏、山下広矛氏

### (2) 学校関係者

校長、副校長、事務長、小学部主事、中学部主事、高学部主事、訪問主任、教務課長

## 2 内容

### (1) 校長挨拶

- ・本年度から3名の新しい委員の方をお招きしている。令和5年度、第3回の学校運営協議会の時に、元旦に起きた石川県能登半島を震源とした地震の話をしたが、今日の朝も地震があった。子供の命を守るため、危機管理の意識を高める必要があると改めて感じた。
- ・本校の教育目標は、「豊かな心・学び・未来」である。職員は、この教育目標をすぐに言うことはできるが、本年度の具体的な取り組みについても言えると良い。
- ・児童生徒には、「挨拶をしよう」「出会いを大切にしよう」「チャレンジをしよう」「良いところを見つけよう」と言い続けている。昨年度、この場で「地域とともに」というキーワードを委員の皆様から御意見をいただいた。今年度は、そこに力を入れたい。子どもの権利条約の第12条に、「自由に自己の意見を表明する権利」というものがある。児童生徒と色々なことを考えていきたい。
- ・本日、職員に校長だよりを発行した。テーマは「児童生徒にとっての心理的安全性」である。学校の教室の中で、児童生徒が自分の考えや気持ちを安心して発言発表できる状態のことである。安全で安心して生活できるように支援していきたい。

### (2) 学校運営協議会の概要の説明

### (3) 学校運営協議会議員の委託

### (4) 自己紹介、会長・副会長の選出

会長…木藤氏、副会長…恩田氏 ※承認

### (5) 令和6年度学校経営計画、各学部の取組について（校長、各部主事、訪問主任）

- ・学校経営計画の説明

教育目標、目指す児童生徒像、目標具現化の柱、本年度の取組（ゴシックを中心に説明）

#### (6)意見交換

委員D…職員の勤務状況について、現状を教えてください。

校長…本校は、原則19時退勤となっている。一昨年、月45時間越えや年間360時間越えの職員は17人いたが、昨年度は、11人に減った。部内での業務の調整や19時を過ぎる場合は申告制、水曜日を定時退勤日とすることで、状況的には改善されている。今年度は、中学部や高等部で退勤時間の見える化を実施している。

委員D…職員の健康面も大切であるため、定時で自分の業務が終わるという意識は大切である。

委員A…今年度は、成果目標が100%になっている箇所が多い。100%を掲げることは良いことである。

#### ・各学部の取組

小学部…昨年度、いじめ案件があったが、素早い対応ができた。今年度は、いじめ予防の観点についても指導していく。ICT教育については、学校に登校することや集団活動に不安のある児童もいるため、リモート学習を推進していく。会議の見直しをし、ブロック会議を新設した。その中で情報共有をしていく。

中学部…現在18名在籍しているが、中学部の生徒は実態の幅が広い。集団のルールとマナーを学部生徒全員が意識できるようにする。ICTの活用は、まずは、職員自身が学ぶことが大切であると考え。生徒が原籍校に安心して戻ることができるように、オンラインでのやり取りも充実させていく。

高等部…ルールやマナーを守って生活できるように指導したり、地域の人と関わったりする場を設定する。3年後、社会に出ていくことを見据えて、働く力を身に付けられるようにしたい。昨年度は、6名の卒業生がいた。3名が専門学校や職業訓練校に進学、3名が企業に就職した。

訪問教育…13名在籍している。病状が重い場合、医療との連携が欠かせない。基本的には1対1で授業を実施しているが、病状や特性に応じて、集団活動も取り入れている。病棟から出ることが難しい児童生徒も多い場合、ビデオや作品を通して交流をしていく。

事務部…今年度は、非常災害訓練時に輪番で担当をする。互いにアイデアを出しながら、よい環境づくりを意識していきたい。

### 3 授業参観

#### 4 意見交換

委員A…国公立の進学を目指している学習グループに長年支援していた生徒がいた。学習している姿を見ることができて良かった。情報提供であるが、浜松市内の就労継続支援A型事業所が2つ閉所した。理由としては、就労継続支援A型事業所を継続することが大変であるからである。今後、他にも閉所があるかもしれない。

委員B…先生方が元気よく授業をしている。見ているこちらが気持ちよい。児童生徒も元気である。授業を参観していると、タブレットが一人1台あるが、企業も一人1台である。社会に出ることを考えると、より、パソコンに慣れる風土づくりが必要である。クールダウン部屋については社会に出たらそういった部屋がないこともある。使い方や使用できる時間の見直し等が必要である。

委員C…子供が小学部に在籍していたことがあり、笑い声が聞こえ、懐かしく感じホットした。

委員D…毎日元気に登校している姿を見かける。校外で社会的にいじめにあっていないか聞きたい。

学 校…昨年度、電車内でトラブルがあったが、いじめというものはない。

委員E…久しぶりに授業を参観した。訪問教育の掲示物は大変良かった。本校の児童生徒にアクションを起こさせるために実物を提示するアイデアは良い試みである。小学部の児童が卓球をやっていた場面があった。40年前の風景と全く同じ風景であった。当時は、喘息の児童生徒が60%ほど在籍していたが、卓球は健康管理のためにやっていた。卓球は、今の児童生徒にも合っている。勝負だと勝ち負けになるが、二人で何回ラリーができたかというゲームにすることで、相手の気持ちを考えたり、優しい心や思いやりの心が育ったりする。卓球というアイテムがとても良い。天特の伝統であると思う。また、ICT教育が進んでいると感じた。何年後かには「黒板って何?」「チョークって何?」ということになるかもしれない。社会が変化している中で、職員のICT研修が大切である。

#### 5 コンプライアンス委員会

##### (1) 令和6年度不祥事根絶取組計画について

令和6年度不祥事根絶取り組み計画を基に説明後、各学部の取組紹介

小学部…3か月で児童が転出していく。互いに状況が分かるように、意見を共有する場（学部会やブロック会等）を設けている。また、学部内の業務の偏りがないようにみんなで支え合っている。

中学部…風通しのよい雰囲気づくりを意識している。「あいさつ」「業務改善」「交通事故」をキーワードに、毎月目標を考えて提示している。5月から学部職員の退勤時間を視覚化している。

高等部…4月当初、学部職員に「雑談を大切にしよう」「相談をしよう」と伝えた。良い雰囲気の仕事ができている。誰もが発言できるような会議にするために、段階を踏んで学部会を実施している。金曜日の退勤時に「よい週末を。」と伝え合っている。

事務部…今年度、メンバーが入れ替わったため、今までやっていたことを文字や表にして、互いに業務が見えるようにしている。また、事務室全体が一つになるように、普段から話をすることを意識している。

教務課…職員会議のレジュメに、項目ごと提案時間を明記している。全校一斉で木曜日をノー会議デーとしている。今年度については、先生方の協力もあり、追加の会議や研修等も木曜以外で実施している。

## (2) 意見交換

委員D…管理職が部下の業務を把握することが大切である。これは、不祥事防止にもつながる。仕事の意識として、本人が「この時間までにこれをやろう。」という意識がないと意味がない。

委員C…子供を預けている側として、先生方は大変な思いをしていると感じた。先生方は、色々相談しながら仕事を進めているということを知って、良いことだと思った。

校長…「不易流行」という言葉があるが、良いものは継続していきたい。「教師のやりがい」「使命感」「職員がいつも笑顔」をキーワードにしていきたい。